工事情報（工事管理ファイル）

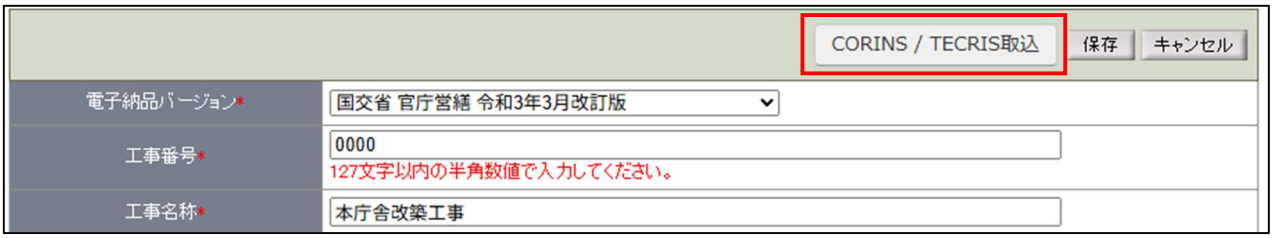
工事情報を入力する手順を説明します。

① ［電子納品］をクリックし、「工事情報参照」画面を開き、［変更］ボタンをクリックします。

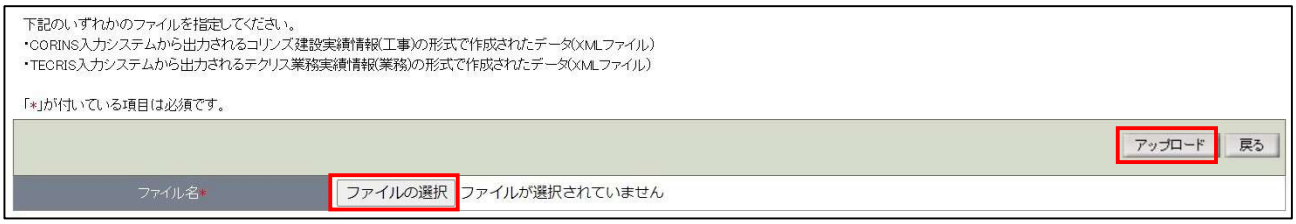
② 工事全体にかかる情報を登録します。

登録には、コリンズデータを取り込んだ上で一部の項目を手入力する方法と、全ての項目を手入力する方法があります。

【コリンズデータの取り込み方法】
［CORINS / TECRIS 取込］ボタンをクリックしてください。



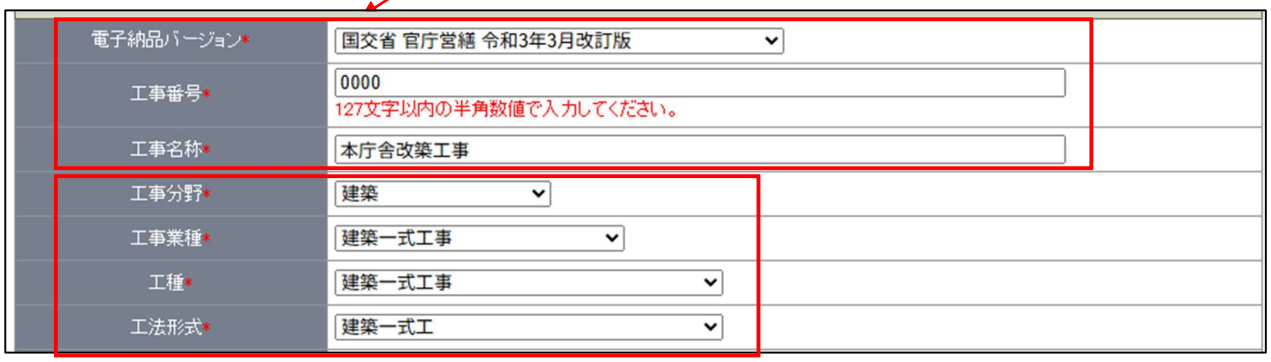
［ファイル選択］ボタンをクリックし、CORINS 入力システムから出力されるコリンズ建設実績情報（工事）の形式で作成されたデータを選択し、［アップロード］ボタンをクリックしてください。



なお、「工事名称」はコリンズデータの内容を反映しません。

③各項目を入力します。
入力画面を上から区切って
ご説明いたします。

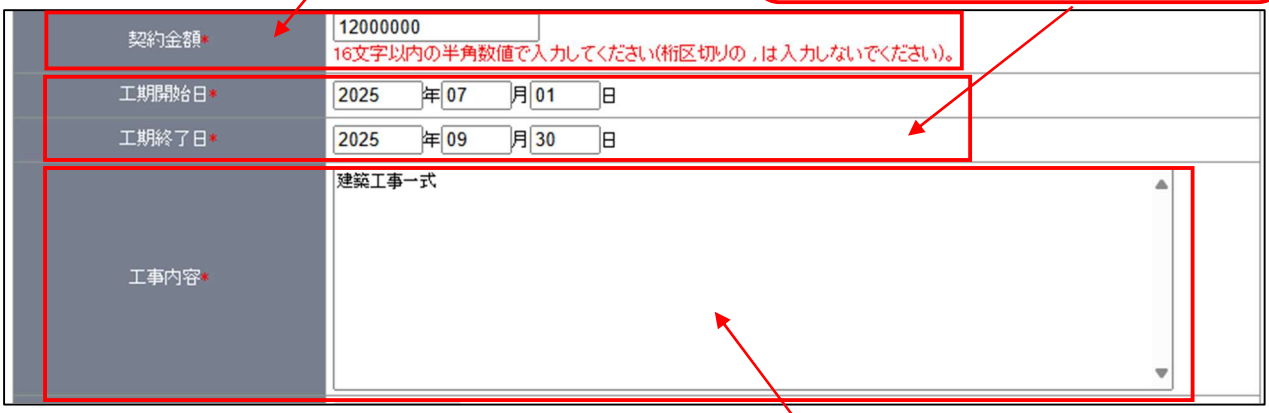
●「**電子納品バージョン**」「**工事番号**」「**工事名称**」
初期表示されていますので間違いがないか
確認してください。



●「**工事分野**」「**工事業種**」「**工種**」「**工法形式**」
初期表示されていますので間違いがないか
確認してください。
変更する場合は、プルダウンをクリックして表示される中から
選択します。

「**契約金額**」
空欄で表示されますので、契約金額を入力してください。

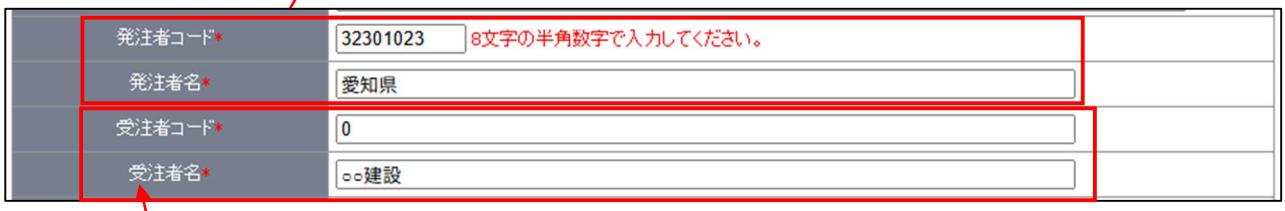
「**工期開始日**」「**工期終了日**」
初期表示されていますので間違いがないか確認してください。



「**工事内容**」
初期表示されていますので間違いがないか確認してください。
ただし、契約変更があったときはその内容に合わせて修正します。
（システムでは修正されません。）

「**発注者コード**」
CORINS データを取り込んだ場合は、表示されている内容を確認してください。
手入力する場合は以下のリンクを参照してください。
https://www.cals-ed.go.jp/mg/wp-content/uploads/code_common_hachu4.pdf

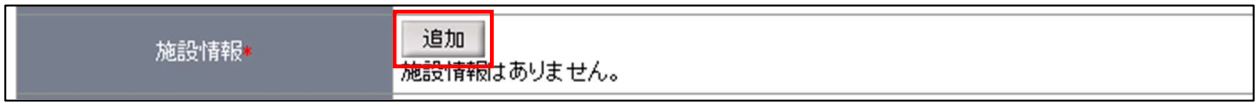
「**発注者名**」
発注者の名称を入力してください。



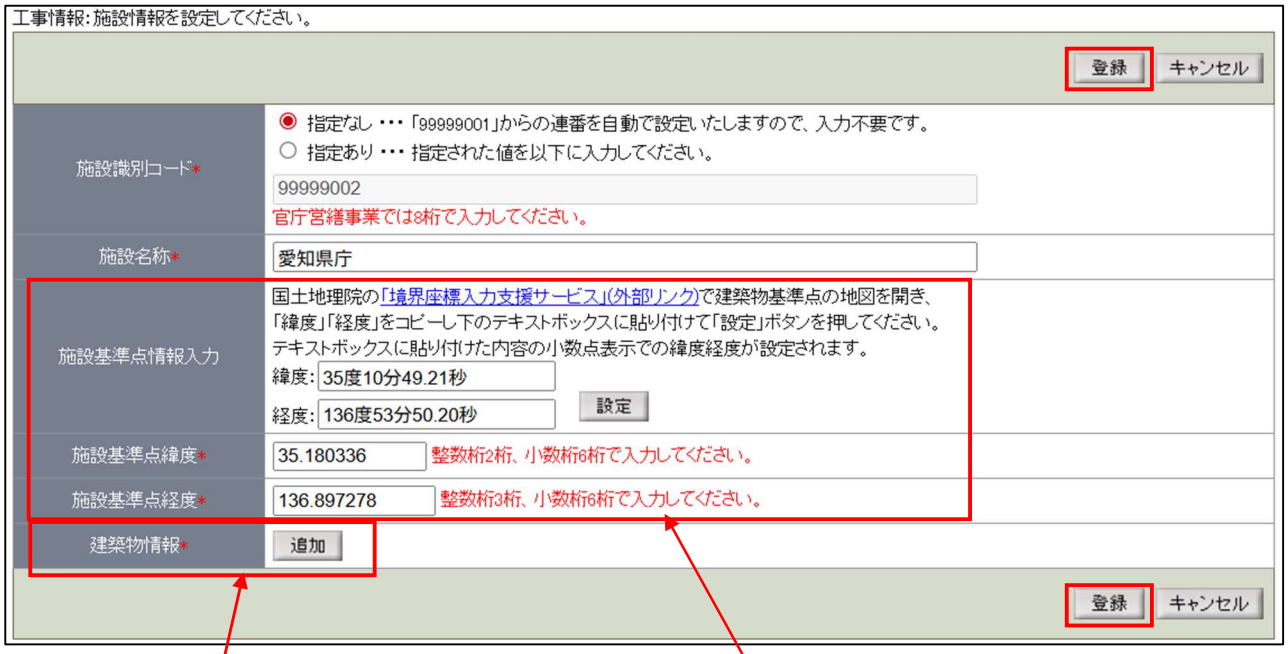
「**受注者コード**」
発注者が定める受注者コードを入力してください。
（「愛知県電子納品運用ガイドライン」の記入例では「0」とされています。）

「**受注者名**」
初期表示されていますので間違いがないか確認してください。

「**施設情報**」：［追加］ボタンをクリックすると画面が移動します。



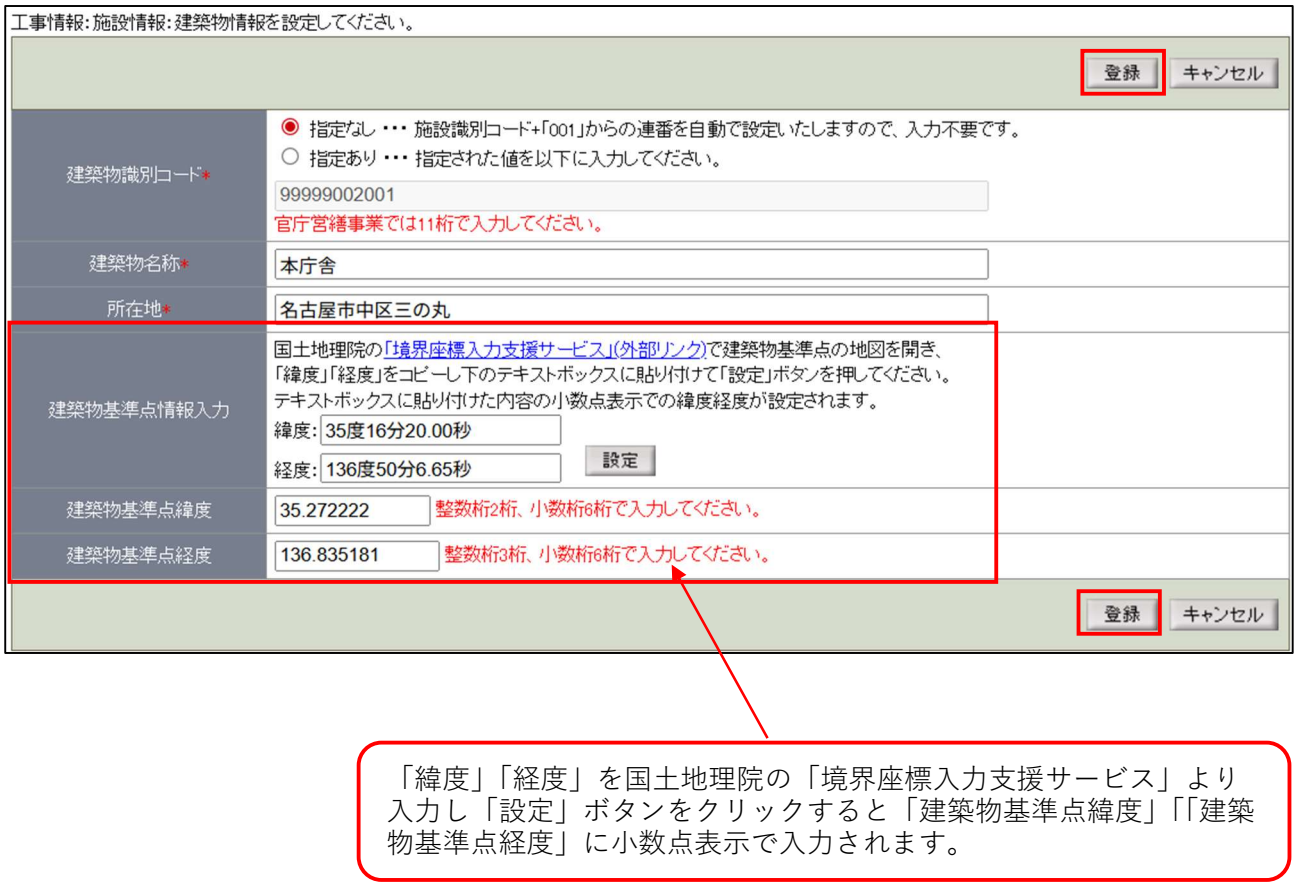
下記に必要な情報を入力し、［登録］ボタンをクリックします。



「緯度」「経度」を国土地理院の「境界座標入力支援サービス」より入力し「設定」ボタンをクリックすると「施設基準点緯度」「施設基準点経度」に小数点表示で入力されます。

「**建築物情報**」
［追加］ボタンをクリックすると画面が移動します。
（画面は次ページを参照ください。

下記に必要な情報を入力し、［登録］ボタンをクリックします。



「緯度」「経度」を国土地理院の「境界座標入力支援サービス」より入力し「設定」ボタンをクリックすると「建築物基準点緯度」「「建築物基準点経度」に小数点表示で入力されます。

【施設識別コード、建物識別コードが指定されない場合の入力例】

施設識別コード	99999001			99999002	
施設名称	ヘルプデスクセンター			ヘルプデスクセンター２	
施設基準点緯度	35.182194	35.182194	35.182194	35.182194	35.182194
施設基準点経度	136.909861	136.909861	136.909861	136.909861	136.909861
建築物識別コード	99999001001	99999001002	99999001003	99999002001	99999002001
建築物名称	１号棟	２号棟	３号棟	東棟	西棟
所在地	名古屋市中区三の丸	名古屋市中区三の丸	名古屋市中区三の丸	名古屋市中区三の丸	名古屋市中区三の丸
建築物基準点緯度	35.182194	35.182194	35.182194	35.182194	35.182194
建築物基準点経度	136.909861	136.909861	136.909861	136.909861	136.909861

※施設名称とは、建物群の全体名称です。例：「〇〇市役所」「△△公園」など

※建築物名称とは、建築物自体の名称です。例：「東庁舎、西庁舎」「管理棟」など

④すべての項目を入力しましたら、［保存］ボタンをクリックします。